

音響管試験(依頼試験)のご案内

(垂直入射吸音率測定、垂直入射音響透過損失測定)

1. 測定概要および手続き

(1) 試験概要

項目	垂直入射吸音率	垂直入射音響透過損失
測定規格	JIS A 1405-2:2007	ASTM E2611-24
測定結果	吸音率	音響透過損失 (dB)
測定機器	ブリュエル・ケアー製	

(2) 測定周波数範囲

- ①太管のみ : 1/3 オクターブバンド 12 バンド (100～1250Hz)
- ②細管のみ : 1/3 オクターブバンド 10 バンド (630～5000Hz)
- ③太管・細管同時申し込み: 1/3 オクターブバンド 22 バンド (100～5000Hz)

(3) 測定の予約

事前に電話や技術相談受付フォームより、担当者と試験内容、手続き等についてご相談下さい。

試験体の材質によっては測定ができない場合があります。申込の前に必ずご確認ください。

- ① 試験体の名称 ②数量 ③試験体の仕様(材質、厚さ、背後空気層の有無・背後空気層の厚さ)
- ④ 希望日 ⑤お客様の連絡先 ⑥その他測定に必要な事項

(4) 手数料

最新の料金は都産技研ホームページの機器設備情報をご確認ください。

- ・ 太管・細管両方を申し込む場合は2測定分の料金が必要です。
- ・ 同一試料について吸音率測定と透過損失測定を申し込む場合は2測定分の料金となります。

(5) 支払い

支払いは前払いです。銀行振込、コンビニエンスストア払い、デビットカード・クレジットカード払い、現金払いのいずれかでお支払い下さい。

測定は、お客様からの入金確認後に行います。

(6) 試験結果

試験結果については、報告書を発行します。

報告書を手渡しで受け取りされることをご希望の場合は、お申し込み手続き時にご連絡ください。

2. 試験体の条件

(1) 試験体サイズ

- ① 太管: 直径100mmの円筒型、又は円盤型(硬い材料は0.5mm程度小さめに加工)
- ② 細管: 直径29mmの円筒型、又は円盤型(硬い材料は0.5mm程度小さめに加工)

(2) サイズについての注意

規定サイズに成形した試料を事前に持参し、管への取付状態をお客様ご自身でご確認ください。

試験体が管に入らない場合は、お客様の費用負担で作り直していただきます。

サイズ通りで管に入らない場合は、0.5mm程度小さめの切断を目安として下さい。

(3) 試験体数

1測定につき、太管及び細管それぞれ1個以上、3個以下(測定結果は、個々の測定値の他に平均値も示

します。ただし試験体間で測定値のばらつきが大きい場合は、平均値は示しません。)

(4) **試験体の送付・返却**

試験体の送付方法や送付時期については事前に担当者にご相談下さい。送付時に返送先記入済みの返送用の伝票もご同封下さい (郵送での返却は着払いとなります。)

試験終了後の試験体引き取り・廃棄は、当センターで行いません。

(5) **音の入射面**：ご依頼時に、表裏どちらを入射面にするか必ずご指示下さい。